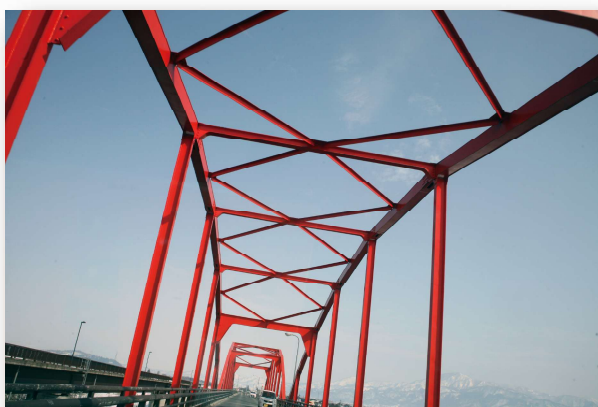




谷地の情景 「谷地高校に入学して良かったこと」



浅野目 尚樹

東根市長瀬から谷地高校に通い、3年の月日を経て成長しました。

谷地の町を散策すると、整然と等間隔に並ぶ街灯に直線状に広々と貫く街道と、それに沿うように商店が多く立ち並んでいます。商店街や建物に沿って曲線を描く小路があり、森のように木々が生い茂る、その中央に厳かに神社がそびえ立っています。私はそうした様々な建築物の成り立ちや歴史を考えるのが好きでした。

特に私の好きな場所は、赤い河北橋から始まる最上川の河川敷です。

そこからの景色は西に最上川や山々の麓、山肌が広がり、それらは季節が変わると異なる表情を見せ、自然の豊かさを感じさせられました。東には、東根、天童、山形の町並みが見え、夜になると多くの街灯が灯り幻想的な情景を浮かび上がらせます。

私はこの情景を見て感動していました。そして、東から西へ鉄塔が横断して立っています。それは、町から河川敷の真上を通り、山並みのさらに向こうへと続いています。夜になると静寂な闇に包まれる西の山肌。

電線の向こうにはどんな情景があるのか想像し期待に胸を膨らませながら希望を抱いて、高校生活を送りました。